

平成 30 年度

中津川市文化スポーツ部の方針と重点

中津川市文化スポーツ部

ライフスタイルや価値観の多様化が進んでいる現代社会では、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、人と人との絆を深めながら、生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ることが大切である。

すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくるため、『学び、活かす市民』を将来像として目指す文化スポーツ部の方針と重点を次のとおり定める。

方 針

“いきいきとした人づくり”を実現する“まち”中津川

『学び、活かす市民』づくりを目標に、「読書」による人づくり、「一市民1スポーツ」による人づくり、「ふるさと」に誇りをもつ人づくりを推進し、市民の一人ひとりが読書活動や文化活動等を通じて学び続ける生涯学習社会、豊かなスポーツライフ社会を実現する。

1. 市民一人ひとりが心豊かな生活をおくるために多様な学習・文化・スポーツに取り組む機会の創出を図り、地域で活躍する人づくりや出番づくりを推進する。
2. 市民が自主的に生き生きと生涯学習・文化・スポーツ活動に取り組むことができるよう、環境整備を推進する。
3. 市民協働により公民館、図書館、博物館、文化施設、スポーツ施設等の運営や事業実施の取組を推進する。
4. いつでも、どこでも、だれでも等しく読書に親しめる環境を充実し、ボランティアとの協働により読書活動を推進する。
5. 市が提唱する「8万人のヘルスアップ」と連携し、スポーツ活動による健康づくりにより、スポーツ実施率向上を推進する。
6. 「リニアのホームタウンなかつがわ」の魅力を発信するため、ここにしかない文化財の保存、活用及び継承並びに地域の文化芸術活動の支援及び育成を推進する。
7. まちづくり人づくりの拠点となる公民館を活性化するため、地域の人材を発掘、育成し、住民主体による公民館運営を推進する。

重 点

Ⅱ 読書活動の推進

【教育・生涯学習環境の整備】

■全市民が等しく享受できる読書環境整備

- ・「全市でひとつの大きな図書館」という考えに立った、資料収集と利活用の充実、各地域公民館図書室等の特色を活かした環境整備
- ・いつでも、どこでも、だれでも等しく読書に親しめるよう、情報ネットワークによる窓口サービスや配本ネットワークによる資料サービスを展開
- ・市内の各地域における図書館サービスをすすめるための、司書による巡回と地域公民館との連携の充実

【教育内容・生涯学習内容の充実】

■人づくりにつながる読書活動

- ・「学び、活かす市民」を実現するための読書活動の推進
- ・第二次「子ども読書活動推進計画」の策定
- ・0歳から100歳まで各年代に対応した読み聞かせ会、お話会、講座、講演会、イベント等、「市民と図書館」、「市民と資料」、「市民と市民」を結びつける事業の開催による人づくり

【市民が参加する教育体制の整備】

■ボランティアの支援と協働推進

- ・講座開催によるブックサポーターの育成継続
- ・市民一人ひとりの生きがいにつながるボランティア活動の場づくりと幅広い市民協働による図書館運営